

春採湖レポート 2023

令和 7 年 2 月

春採湖調査会

目 次

1 水質部門

春採湖の水質

角田 富男 1 ページ

2 動物部門

ヒブナ・フナの産卵調査

針生 勤 2 ページ

ウチダザリガニ捕獲調査

蛭田 眞一、照井 滋晴・ 3 ページ

春採湖で暮らす野鳥たち

釧路市立博物館 4 ページ

3 植物部門

春採湖湖畔の植物

釧路市立博物館 6 ページ

水生植物の動態

神田 房行 12 ページ

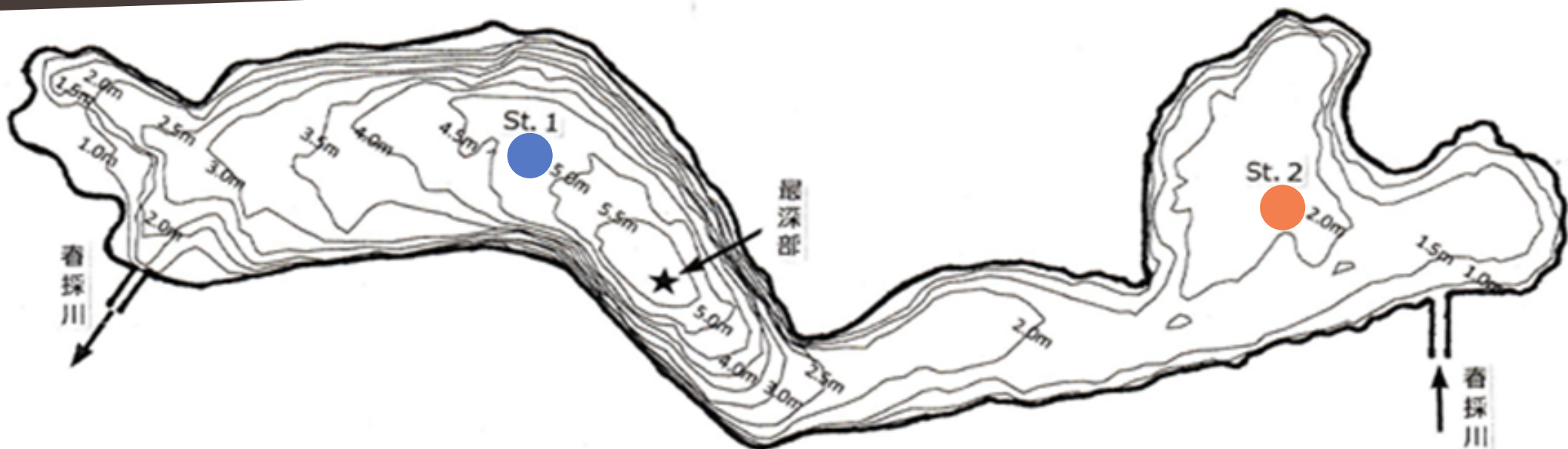
春採湖ダイジェスト 13 ページ

春採湖の水質

過去の春採湖

- 水質汚濁の指標とされるCODは、1990年代初頭までは15mg/ℓ前後と高く、1991年には国の湖沼水質全国ワーストランキングで1位となる
- その後、周辺の下水道の整備や湖尻の春採川の潮止め施設(旧堰)の設置などによって徐々に水質は向上し、2010年代以降は全国のワースト10位前後まで改善

2023年の水質



春採湖の水質調査地点

春採湖の水質調査

● St.1と● St.2で
5月～11月の期間、
月1回(計7回)実施

用語解説

シオデイ
COD(化学的酸素要求量)とは？

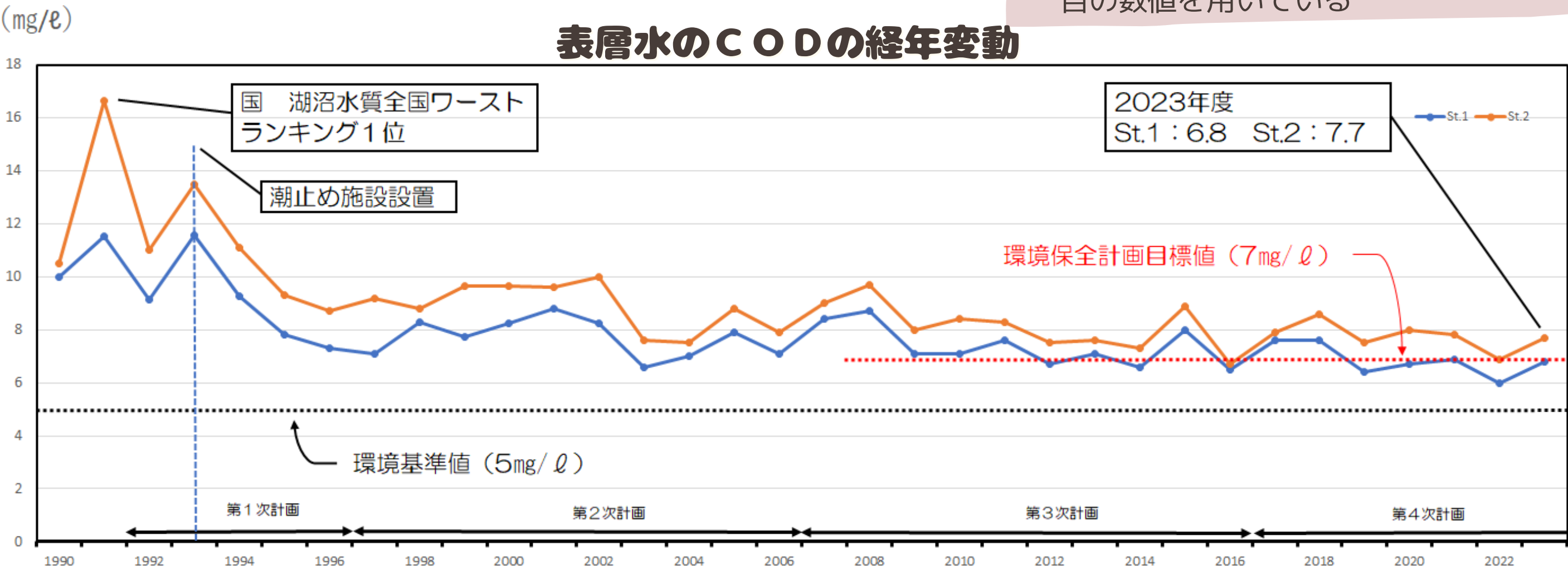
- 水中の有機物を酸化剤で化学的に分解する時に必要な酸素の量
- 湖沼・海域の汚濁を測る指標で、COD値が高いほど汚濁度が高い

75%値とは？

- 測定値を低い方から順に並べたとき75%目に該当する値
- 2023年度は調査回数が7回だったため、75%値は5.25番目だが切り上げて6番目の数値を用いている

表層水の調査地点(St.1とSt.2)の平均値(pHは最小～最大)
(単位はmg/ℓ、ただしpHは単位なし)

	COD 化学的酸素要求量	COD 75%値	DO 溶存酸素	SS 懸濁物	T-N 栄養塩類の全窒素	T-P 全リン	Cl- 塩化物イオン	pH
2022	6.5	7.5	11	11	0.60	0.046	623	8.0～8.9
2023	7.3	7.8	11	12	0.62	0.051	572	8.3～8.8
環境基準値 湖沼B類型		5以下	5以上	15以下	1以下	0.1以下		6.5～8.5



2023年の結果

- 水質汚濁の主要指標であるCOD(化学的酸素要求量)は観測2地点の平均が7.3mg/ℓで、昨年より上昇しているが、経年変化の範囲内に収まっている。
- COD 75%は観測2地点の平均が7.8mg/ℓで、環境基準値(5mg/ℓ以下)を達成していないものの、春採湖環境保全計画目標値(7mg/ℓ以下)には近く、水質の維持ができています。
- 他の主要項目は例年と比較して大きな変動はなかった

ヒブナ・フナの産卵調査

調査概要

調査①

内容：湖岸一帯におけるヒブナ・フナの産卵状況の調査

方法：湖岸一帯の26地点（右図参照）を調査地点として設定
6月15日の1日間で各調査地点の水草等を採集して、
卵が産み付けられているかを目視で確認

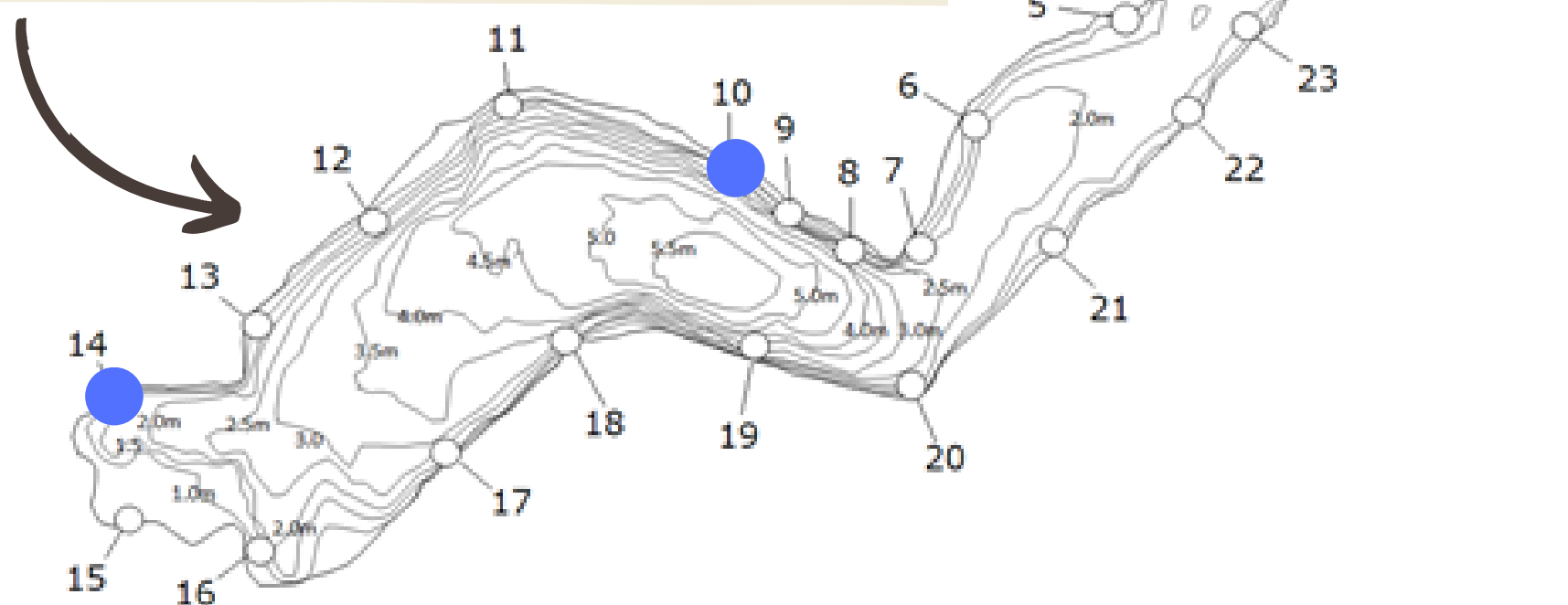
調査②

内容：定点におけるヒブナ・フナの産卵状況の調査

方法：マツモ・リュウノヒゲモ群落が存在する湖岸2箇所に定点を設定
6月5日～7月4日の間に2～4日間隔で産卵状況を確認（計6回）
（定点観測地点 No.10、No.14 ●）



春採湖で捕獲されたヒブナ



調査結果

調査①

・ No.1, 2の地点で産卵を確認（産卵確認地点 ●）

・ No.1,2ともにマツモに産卵を確認
（No.1ではマツモに多量の卵が確認された）

・ 調査日の水温が20～21℃であり、産卵の適正水温
（18～20℃）をやや超えていたため、産卵時期の終盤
と考えられる



マツモに付着した卵



エゾノミズダテに付着した卵



産卵調査（水草に産卵があるかを目視で確認）

調査②

・ No.10地点では産卵を確認できなかった

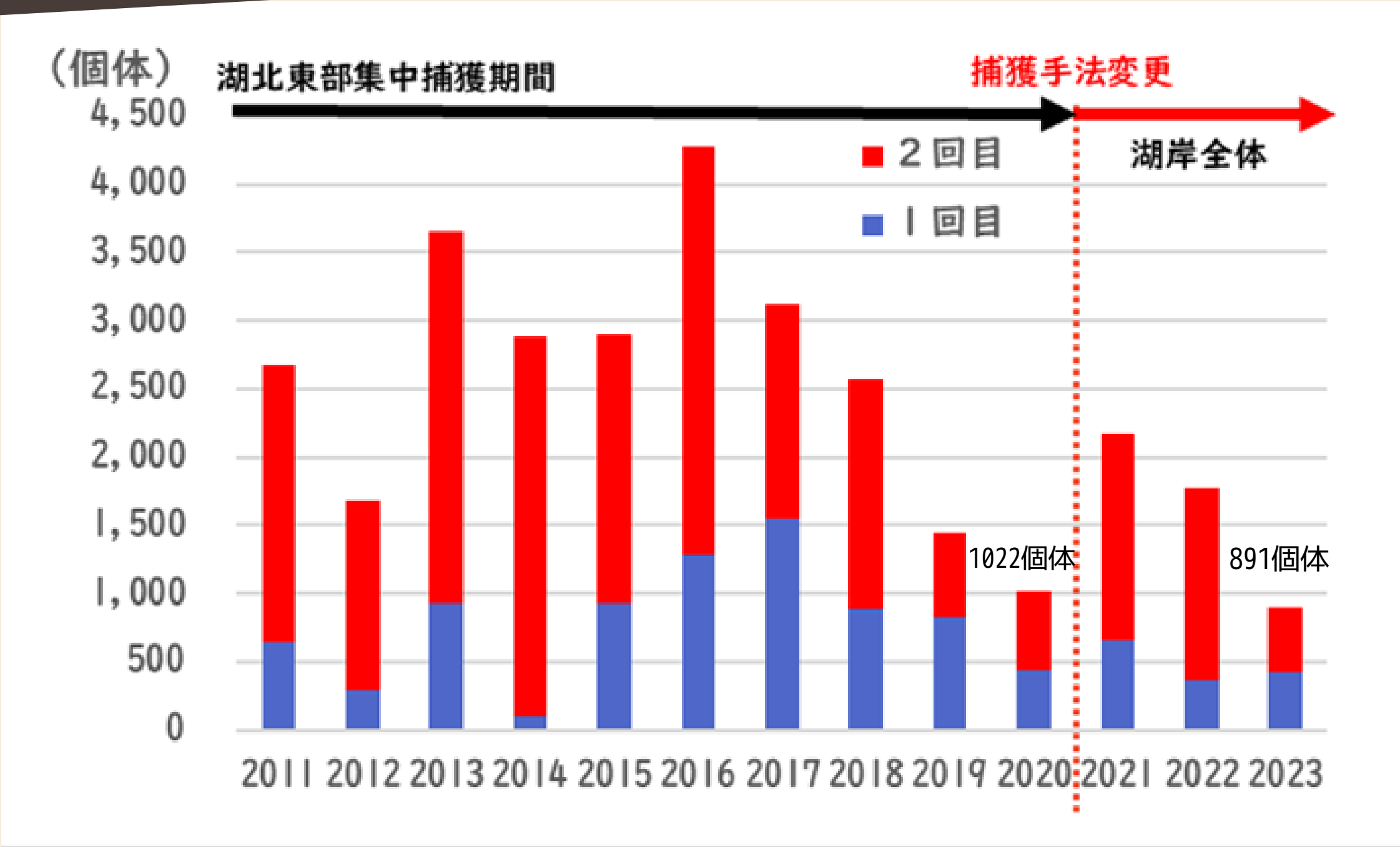
・ No.14地点では6月5日の1日のみ産卵を確認

産卵の傾向

- ・ 調査の結果から2023年の産卵期間は6月上旬～6月中旬であったと考えられる
- ・ マツモは9地点（No.1, 2, 3, 21, 22, 23, 24, 25, 26）で群落が確認でき、リュウノヒゲモは2地点（No.10, 11）で群落が確認できた
- ・ ヒブナ・フナの産卵環境は、2022年に引き続き相当程度回復していると考えられる

ウチダザリガニ捕獲調査

年間総捕獲数の推移



近年の傾向

- 2011年～2020年まで捕獲数減少
- 大型個体の捕獲割合の減少
- 湖内全域で捕獲されている
- 年々水草の生育範囲が拡大

調査方法の変更

2020（令和2）年度まで

- 1回目：湖岸全域 5日間
- 2回目：北東部集中捕獲 10日間

2021（令和3）年度から

- 湖岸全域 5日間x2回

2023年の捕獲状況

1回目

期 間：6月26日～6月30日

捕獲数：416個体

（雄259個体、雌157個体）

2回目

期 間：9月25日～9月29日

捕獲数：475個体

（雄190個体、雌285個体）

結果

2023年度総捕獲数量は、

891個体

（雄449個体、雌442個体）

2020年度に比べて約0.8倍の捕獲数
（2020年度：1022個体）

- 同じ捕獲方法で実施した2021年度（2176個体）、2022年度（1421個体）と比べると少ない
- 2023年9月27日～29日の3日間は、水草繁茂の影響でそれぞれ12地点で捕獲作業ができず、2022年度と比較すると9月全体捕獲数の約10%の個体数（約48個体）を捕獲できなかったと考えられる

考察

- 上記のことから、2023年度の捕獲個体数は939（891+48）個体前後になることが期待された
- この数値は、2020年度捕獲数（1022個体）と遜色ない値で、まずまずの捕獲成果を得たと考える

春採湖で暮らす野鳥たち

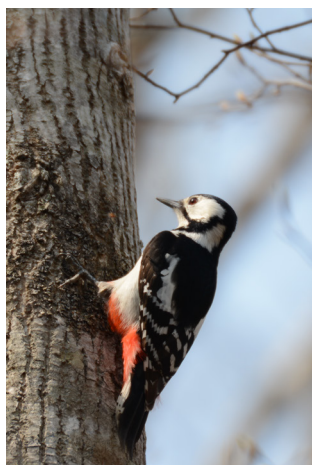
春採湖では約 140 種類もの野鳥が確認されています。小さな湖にも関わらず、この数は日本で確認されている野鳥の種数の 5 分の 1 にもなります。その理由としては、林、水辺、ヨシ原など、春採湖には多様な環境が備わっているからだと考えられます。ここでは湖畔で暮らす野鳥を紹介します。



シマエナガ（左）
1 年を通して観察できます。
林の中を動き回りながら食べ物を探しています。



アオジ（右）
繁殖のため渡来する渡り鳥です。オスは黄色い色が特徴的です。



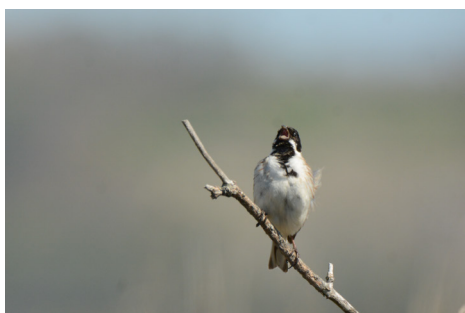
アカゲラ（上）
年中観察されます。
木に穴を開け、その中で子育てをします。



マガモ（左）
湖畔で繁殖する水鳥の 1 種です。ヒナはふ化後からすぐに自分で食べ物を探することができます。



カワアイサ（右）
春と秋に群れで観察されます。集団で水の中へ潜り、魚を狙っています。



オオジュリン（左）
大きな口を目一杯開けて、自分のなわばり誇示やメスにアピールしています。



ミヤマカケス（右）
秋によく観察され、ミズナラの実を木の隙間へ隠す行動が見られます。



ヒドリガモ（左）
秋に渡来し、湖が結氷するまで滞在。
水草を食べながら過ごします。

協力：釧路市立博物館

2023年 春採湖畔探鳥会で確認された野鳥(釧路市立博物館)

日本野鳥の会釧路支部と釧路市立博物館では、毎年「春採湖畔探鳥会」と銘打って4月から11月までの毎月1回、春採湖畔の探鳥会を開催しています。2023年度は5月14日、6月18日、7月16日、9月17日、10月15日、11月19日(4、8月は雨天のため中止)に実施し、次のような野鳥を観察することができました。 ※名前の順番は「日本鳥類目録改訂第8版」に基づいています。

番号	種 名	移動習性	5月14日	6月18日	7月16日	9月17日	10月15日	11月19日	春採湖での生息状況
1	ヒドリガモ	冬鳥						○	よく飛来
2	マガモ	留鳥		○		○			繁殖
3	コガモ	冬鳥	○						よく飛来
4	カワアイサ	夏鳥						○	よく飛来
5	アマツバメ	夏鳥		○	○				ときどき飛来
6	カッコウ	夏鳥		○					繁殖の可能性あり
7	オオバン	夏鳥						○	ときどき飛来
8	ユリカモメ	旅鳥						○	ときどき飛来
9	ウミネコ	夏鳥				○	○		よく飛来
10	カモメ	旅鳥						○	ときどき飛来
11	オオセグロカモメ	留鳥	○	○	○	○	○	○	よく飛来
12	アオサギ	夏鳥		○	○	○	○		よく飛来
13	ダイサギ	旅鳥		○					ときどき飛来
14	オオタカ	留鳥				○	○		ときどき飛来
15	トビ	留鳥	○	○	○	○	○	○	繁殖
16	オジロワシ	留鳥						○	ときどき飛来
17	ノスリ	留鳥					○		ときどき飛来
18	コゲラ	留鳥	○			○	○	○	繁殖
19	アカゲラ	留鳥		○		○	○	○	繁殖
20	モズ	夏鳥		○		○	○		繁殖
21	カケス	留鳥				○	○	○	ときどき飛来
22	ハシボソガラス	留鳥	○	○	○	○	○	○	繁殖
23	ハシブトガラス	留鳥	○	○	○	○	○	○	繁殖
24	ヒレンジャク	冬鳥						○	ときどき飛来
25	ヒガラ	留鳥	○	○		○	○	○	繁殖
26	ヤマガラ	留鳥					○	○	繁殖の可能性あり
27	ハシブトガラ	留鳥	○			○	○	○	繁殖
28	シジュウカラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	繁殖
29	ヒヨドリ	留鳥	○	○	○	○	○	○	繁殖
30	ショウドウツバメ	夏鳥		○	○				ときどき飛来
31	ウグイス	夏鳥	○						繁殖の可能性あり
32	エナガ	留鳥				○	○	○	繁殖
33	センダイムシクイ	夏鳥	○	○	○				繁殖
34	エゾムシクイ	夏鳥	○	○		○			繁殖
35	コヨシキリ	夏鳥		○	○	○			繁殖
36	エゾセンニュウ	夏鳥		○					繁殖
37	シマセンニュウ	夏鳥		○					繁殖
38	メジロ	夏鳥	○				○		繁殖
39	キクイタダキ	留鳥					○		ときどき飛来
40	ゴジュウカラ	留鳥	○			○	○	○	繁殖
41	コムクドリ	夏鳥	○	○					繁殖
42	クロツグミ	夏鳥	○						ときどき飛来
43	コサメビタキ	夏鳥				○			ときどき飛来
44	ノゴマ	夏鳥		○					繁殖
45	ノビタキ	夏鳥	○	○	○	○			繁殖
46	ニュウナイスズメ	夏鳥	○						繁殖
47	スズメ	留鳥	○	○		○	○		繁殖
48	キセキレイ	夏鳥			○				ときどき飛来
49	ハクセキレイ	夏鳥	○	○		○			繁殖
50	シメ	夏鳥				○			ときどき飛来
51	アトリ	冬鳥						○	ときどき飛来
52	カワラヒワ	夏鳥	○	○	○	○	○		繁殖
53	アオジ	夏鳥	○	○	○	○	○		繁殖
54	オオジュリン	夏鳥		○	○				繁殖
観察種類数		-	23	27	16	26	24	21	-

春採湖畔の植物

春採湖畔には広い緑地が広がり、釧路の市街地からも近く、植物を楽しむ人もたくさん訪れます。自然度は決して高く、豊かというわけではありませんが、観察できる植物は、野山、湿地、樹林の植物、寒地性の植物、外来植物と多種多様です。春採湖畔で見られる植物の一部を紹介します。

春～初夏



ウラホロイチゲ



エゾエンゴサク



オオバナノエンレイソウ



タチツボスミレ



エゾオオヤマハコベ



ヤマブキショウマ

夏～秋



オオハナウド



シウリザクラ



ハシドイ（釧路市の木）



ツリガネニンジン



オオウバユリ



キツリフネ

協力：釧路市立博物館

2023年 春採湖畔 草花ウォッチングで確認された植物(釧路市立博物館)

釧路市立博物館では毎年5月から9月までの第3土曜日に植物観察会「草花ウォッチング」を行っています。
 下記の表は観察会のコースで確認した野草園と遊歩道沿いの被子植物の主なリストです。
 このリストにはイネ科、カヤツリグサ科、イグサ科は収録していません。また、個体数が減少し観察が困難なものも入っていません。2023年度の開催日は5月20日、6月17日、7月15日、8月19日、9月16日です。

No.	植 物 名	科名(APG)	5月	6月	7月	8月	9月	備 考
1	アキカラマツ	キンポウゲ			つ○	み		
2	アキタブキ	キク	み					
3	ウナギツカミ	タデ				つ○	○み	アキノウナギツカミ
4	アズマイチゲ	キンポウゲ	み					
5	アメリカセンダングサ	キク					○	外来
6	アヤメ	アヤメ		○	み	み		野草園
7	アラゲハンゴンソウ	キク		つ	○	○	○	外来
8	イケマ	キョウチクトウ		つ	つ○	○み	み	エングラー ガガイモ科
9	イタヤカエデ	ムクロジ	○	み	み			木 エングラー カエデ科
10	イチゲフウロ	フウロソウ			○	○		
11	イヌタデ	タデ				○	○み	
12	イヌツルウメモドキ	ニシキギ	つ	つ○	み	み	み	つる性の木
13	イワアカバナ	アカバナ					み	
14	ウツボグサ	シソ		つ	○み	み	み	
15	ウマノミツバ	セリ			○み	み	み	
16	エゾキイチゴ	バラ		つ	み	み	○み	木:エゾイチゴ(ウラジロ)
17	エゾイヌゴマ	シソ						
18	エゾイラクサ	イラクサ		つ○	○み	○み	み	
19	エゾエンゴサク	ケシ	○み					
20	エゾオオサクラソウ	サクラソウ	○					
21	エゾオオヤマハコベ	ナデシコ		つ○	○み	○み	○み	
22	エゾカワラナデシコ	ナデシコ				○		
23	エゾクサイチゴ	バラ	つ○					
24	エゾゴマナ	キク						
25	エゾスカシユリ	ユリ						
26	エゾスグリ	スグリ	○	み	み	み	み	木 エングラー:ユキノシタ科
27	エゾタチカタバミ	カタバミ		○	○	○	○み	
28	エゾタツナミソウ	シソ						
29	エゾトリカブト	キンポウゲ			つ	つ○み	○み	
30	エゾナミキ	シソ						
31	エゾニワトコ	ガマズミ(レンブクソウ)	つ	み	み	み		木 エングラー:スイカズラ科
32	エゾノウワミズザクラ	バラ	○	み				木
33	エゾノカワラマツバ	アカネ			○	み		
34	エゾノギシギシ	タデ		つ○	○み	み	み	
35	エゾノキリンソウ	ベンケイソウ						
36	エゾクロクモソウ	ユキノシタ					○	
37	エゾノシシウド	セリ		つ○	○み	み	み	
38	エゾノシモツケソウ	バラ		つ○	み	み		
39	エゾノタチツボスミレ	スミレ		み				
40	エゾノヨロイグサ	セリ			つ○	み	み	
41	エゾノレンリソウ	マメ			つ○	み		
42	エゾハタザオ	アブラナ				○み	○み	
43	エゾヒメアマナ	ユリ						
44	エゾヒョウタンボク	スイカズラ	○	み	み	み		木
45	エゾフウロ	フウロソウ			○	○	○み	
46	エゾミズタマソウ	アカバナ			つ	み		
47	エゾミソハギ	ミソハギ			つ○	○	○み	

「○」は開花、「つ」はつぼみ、「み」は果実を確認したものです。☆はコース以外で確認した植物です。

2023年 春採湖畔 草花ウオッチングで確認された植物(釧路市立博物館)

釧路市立博物館では毎年5月から9月までの第3土曜日に植物観察会「草花ウオッチング」を行っています。
 下記の表は観察会のコースで確認した野草園と遊歩道沿いの被子植物の主なリストです。
 このリストにはイネ科、カヤツリグサ科、イグサ科は収録していません。また、個体数が減少し観察が困難なものも入っていません。2023年度の開催日は5月20日、6月17日、7月15日、8月19日、9月16日です。

No.	植 物 名	科名 (APG)	5月	6月	7月	8月	9月	備 考
48	エゾヤマアザミ	キク			つ	つ○	○み	
49	エゾヤマザクラ	バラ	○み	み	み			木
50	エゾヤマハギ	マメ			つ	つ○	○み	木
51	エンコウソウ	キンポウゲ	○					移入
52	オオアマドコロ	クサスギカズラ	つ	み	み	み		別:キジカクシ科、エングラール:ユリ科
53	オオアワダチソウ	キク				つ○	○み	外来
54	オオイタドリ	タデ			つ	○	○み	
55	オオウバユリ	ユリ		つ	○み	み	み	
56	オオカサモチ	セリ						
57	オオダイコンソウ	バラ		○み	○み	み	み	
58	オオツリバナ	ニシキギ	つ	○み	み	み	み	木
59	オオバコ	オオバコ			つ○	○み	○み	
60	オオバセンキュウ	セリ				つ○	○み	
61	オオハナウド	セリ		つ○	○み	み		
62	オオバナノエンレイソウ	シュロソウ	○	み	み			エングラール:ユリ科
63	オオバナヤエムグラ	アカネ						
64	オオヤマフスマ	ナデシコ	○	○	○			
65	オオヨモギ	キク			つ	つ○	み	
66	オトギリソウ	オトギリソウ						
67	オトコヨモギ	キク					み	
68	オドリコソウ	シソ	○	○み				
69	オニノゲシ	キク			つ○	○み	○み	外来
70	オニユリ	ユリ						外来
71	オミナエシ	スイカズラ			つ	○	○み	野草園 エングラール:オミナエシ科
72	カセンソウ	キク						
73	カタバミ	カタバミ						
74	カラフトダイコンソウ	バラ		○				
75	カラフトホソバハコベ	ナデシコ	○	○	○			
76	カラマツ	マツ	み	み	み	み	み	木・植栽
77	ククムグラ	アカネ	つ○	○み	み			
78	キジムシロ	バラ	○					
79	キタコブシ	モクレン	み	み				木
80	キタノコギリソウ	キク			○	○	○み	
81	キタミフクジュソウ	キンポウゲ	み					
82	キツリフネ	ツリフネソウ		つ	○み	○み	○み	
83	キバナノアマナ	ユリ	み					
84	キレハインガラシ	アブラナ						外来
85	キンミズヒキ	バラ			つ○	○み	○み	
86	クサノオウ	ケシ	つ○	○み	○み	○み	○み	
87	クサフジ	マメ			○	○み		
88	クサレダマ	サクラソウ			つ	○		
89	クマイチゴ	バラ		つ○	み	み		木
90	クロユリ	ユリ	つ○	○み				
91	ゲンノショウコ	フウロソウ			○	○	○み	
92	コウゾリナ	キク			つ○	○み	○み	
93	コウライテンナンショウ	サトイモ	つ	○	み	み	み	
94	コウリンタンポポ	キク		つ○	○			外来

「○」は開花、「つ」はつぼみ、「み」は果実を確認したものです。☆はコース以外で確認した植物です。

2023年 春採湖畔 草花ウォッチングで確認された植物(釧路市立博物館)

釧路市立博物館では毎年5月から9月までの第3土曜日に植物観察会「草花ウォッチング」を行っています。
 下記の表は観察会のコースで確認した野草園と遊歩道沿いの被子植物の主なリストです。
 このリストにはイネ科、カヤツリグサ科、イグサ科は収録していません。また、個体数が減少し観察が困難なものも入っていません。2023年度の開催日は5月20日、6月17日、7月15日、8月19日、9月16日です。

No.	植 物 名	科名 (APG)	5月	6月	7月	8月	9月	備 考
95	コケイラン	ラン	つ	○	み			
96	ゴボウ	キク		つ	つ○	み	み	外来
97	コンロンソウ	アブラナ	つ○	○み	み			
98	サラシナショウマ	キンポウゲ		つ	つ	つ	○	
99	サルナシ	マタタビ		つ	み			つる性の木
100	サワシバ	カバノキ						木
101	シウリザクラ	バラ	つ	○み				木
102	シコタンキンポウゲ	キンポウゲ		○				
103	シャク	セリ	つ○	○み	み			
104	シラヤマギク	キク						
105	シロイヌナズナ	アブラナ	○み	○み	み			
106	シロツメクサ	マメ	○	○	○	○み	○み	
107	シロネ	シソ				○	み	
108	スイレン	スイレン		つ○	○	○	○み	外来・植栽
109	ススキ	イネ				○み	み	
110	スズラン	クサスギカズラ		○み			み	野草園 別: キジカクシ科、エングラマー: ユリ科
111	セイヨウタンポポ	キク	○み	○み	○み	○み	○み	外来
112	セイヨウノコギリソウ	キク		つ○	○	○	○み	外来
113	センダイハギ	マメ	つ	○み	み	み		
114	ゼンテイカ	ワスレグサ	つ○	○み	み			別: ススキノキ科、エングラマー: ユリ科
115	センボンヤリ	キク	○み					
116	タチツボスミレ	スミレ	○	み				
117	タニソバ	タデ				○	み	
118	チシマアザミ類	キク	つ	つ○	つ○み	み		
119	チシマオドリコソウ	シソ				○み	み	外来?
120	チシマザクラ	バラ	○み	み	み			木・植栽
121	チシマネコノメソウ	ユキノシタ	○	み				
122	チドリケマン	ケシ			つ	○み	○み	
123	チョウセンゴミシ	マツブサ	つ	○	み			つる性の木
124	ツボスミレ	スミレ	○	み				
125	ツマトリソウ	サクラソウ		○				
126	ツメクサ	ナデシコ						
127	ツリガネニンジン	キキョウ			つ	○み	○み	
128	ツリバナ	ニシキギ	つ	つ○	み	み	み	木
129	ツルキジムシロ	バラ	○	○		○		
130	ツルネコノメソウ	ユキノシタ	○					
131	ドクゼリ	セリ			○	み	み	
132	ドロノキ	ヤナギ	み	み				木
133	ナガバギシギシ	タデ		つ○	○み	み		外来
134	ナガボノワレモコウ	バラ			つ	○み	○み	ナガボノシロワレモコウ
135	ナギナタコウジュ	シソ					つ	
136	ナズナ	アブラナ	○み	○み	○み			
137	ナナカマド	バラ	つ	み	み	み	み	木
138	ナミキソウ	シソ						
139	ニリンソウ	キンポウゲ	○					
140	ネジバナ	ラン				○み		
141	ネムロブシダマ	スイカズラ	つ	み	み	み		木

「○」は開花、「つ」はつぼみ、「み」は果実を確認したものです。☆はコース以外で確認した植物です。

2023年 春採湖畔 草花ウオッチングで確認された植物(釧路市立博物館)

釧路市立博物館では毎年5月から9月までの第3土曜日に植物観察会「草花ウオッチング」を行っています。
 下記の表は観察会のコースで確認した野草園と遊歩道沿いの被子植物の主なリストです。
 このリストにはイネ科、カヤツリグサ科、イグサ科は収録していません。また、個体数が減少し観察が困難なものも入れていません。2023年度の開催日は5月20日、6月17日、7月15日、8月19日、9月16日です。

No.	植 物 名	科名(APG)	5月	6月	7月	8月	9月	備 考
142	ノハナショウブ	アヤメ						野草園
143	ノハラムラサキ	ムラサキ	○	○み	○み			外来
144	ノブキ	キク				○み	み	
145	ノボロギク	キク	つ○み	○み	○み	○み	○み	外来
146	ノミノフスマ	ナデシコ		○				
147	ノリウツギ	アジサイ		つ	○	み	み	木 エングラー:ユキノシタ科
148	バイケイソウ	シュロソウ	つ	○	み			エングラー:ユリ科
149	ハコベ	ナデシコ	○	○み	○	○		
150	ハシドイ	モクセイ	つ	つ	み	み	み	木
151	ハッカ	シソ			つ	○	○み	
152	バッコヤナギ	ヤナギ		み				木
153	ハナタデ	タデ			○	○	○み	
154	ハマエンドウ	マメ		○		み		
155	ハマナス	バラ		つ○	○み	○み	○み	木
156	ハマハタザオ	アブラナ		○み		み		
157	ハルザキヤマガラシ	アブラナ	つ○	○み	○み			外来
158	ハンゴンソウ	キク			つ	○	○み	
159	ヒオウギアヤメ	アヤメ		○	み	み		
160	ヒトフサニワゼキショウ	アヤメ	つ○	○み				外来
161	ヒナマツヨイグサ	アカバナ		つ○	○み	○み	○み	外来
162	ヒメズイ	クサスギカズラ						別:キジカクシ科、エングラー:ユリ科
163	ヒメジョオン	キク		つ○	○	○み	○み	外来
164	ヒメスイバ	タデ	つ	○	○み	み		外来
165	ヒメムカシヨモギ	キク			つ○	○み	○み	外来
166	ヒヨドリバナ	キク			つ	○	○み	
167	ヒロハクサフジ	マメ					○み	
168	ヒロハツリバナ	ニシキギ						主幹枯死、脇芽生存
169	ヒロハヒルガオ	ヒルガオ			つ○	○み		つる性
170	フタバハギ	マメ				○	○み	
171	フッキソウ	ツゲ	○み	み	み・つ	み・つ	み・つ○	
172	フデリンドウ	リンドウ	○					
173	フランスギク	キク	つ	つ○	○	○み	み	外来
174	ヘラオオバコ	オオバコ		つ○	○	○み	み	外来
175	ヘラバヒメジョオン	キク			○	○み	○み	外来
176	ホザキシモツケ	バラ			つ○	○み	み	木
177	ホソバノキリンソウ	ベンケイソウ						
178	マイヅルソウ	クサスギカズラ	○	み	み		み	別:キジカクシ科、エングラー:ユリ科
179	マユミ	ニシキギ	つ	つ	み	み		木
180	マルバトウキ	セリ		つ○	○み	み		
181	ミズナラ	ブナ	つ	み	み	み	み	木
182	ミズバショウ	サトイモ	み	み	み			移入?
183	ミゾソバ	タデ				つ○	○み	
184	ミツバ	セリ			○	み		
185	ミツバフウロ	フウロソウ				○み	○み	
186	ミツモトソウ	バラ			つ○	○み	○み	
187	ミミコウモリ	キク			つ○	○	み	
188	ミミナグサ	ナデシコ	○	○	○み			

「○」は開花、「つ」はつぼみ、「み」は果実を確認したものです。☆はコース以外で確認した植物です。

2023年 春採湖畔 草花ウオッチングで確認された植物(釧路市立博物館)

釧路市立博物館では毎年5月から9月までの第3土曜日に植物観察会「草花ウオッチング」を行っています。
 下記の表は観察会のコースで確認した野草園と遊歩道沿いの被子植物の主なリストです。
 このリストにはイネ科、カヤツリグサ科、イグサ科は収録していません。また、個体数が減少し観察が困難なものも入れていません。2023年度の開催日は5月20日、6月17日、7月15日、8月19日、9月16日です。

No.	植 物 名	科名 (APG)	5月	6月	7月	8月	9月	備 考
189	ミヤマアキノキリンソウ	キク					○	
190	ミヤマザクラ	バラ	つ	み	み			木
191	ミヤマニガウリ	ウリ			○み	○み	○み	つる性
192	ミヤママタタビ	マタタビ	つ	○	み	み		つる性の木
193	ムカゴイラクサ	イラクサ				○	○み	
194	ムシトリナデシコ	ナデシコ			○	○		外来
195	ムラサキケマン	ケシ	つ○	み				
196	ムラサキツメクサ	マメ	○	○	○	○み	○み	外来
197	メマツヨイグサ	アカバナ			○	○み	○み	外来
198	ヤナギタンポポ	キク			○	○	○み	
199	ヤナギトラノオ	サクラソウ		○	み	み		
200	ヤブジラミ	セリ			つ	○み	み	
201	ヤブマメ	マメ				○	○み	
202	ヤマハタザオ	アブラナ		○み				
203	ヤマハハコ	キク				○	○み	
204	ヤマブキショウマ	バラ	つ	○	み	み		
205	ヤマブドウ	ブドウ	つ	つ○	み	み	み	つる性の木
206	ユウゼンギク	キク					つ○	外来
207	ヨブスマソウ	キク		つ	つ○	み	み	
208	レンブクソウ	ガマズミ(レンブクソウ)	○み					エングラール:レンブクソウ科
209	ワサビ	アブラナ	○み					

「○」は開花、「つ」はつぼみ、「み」は果実を確認したものです。☆はコース以外で確認した植物です。

水生植物の動態

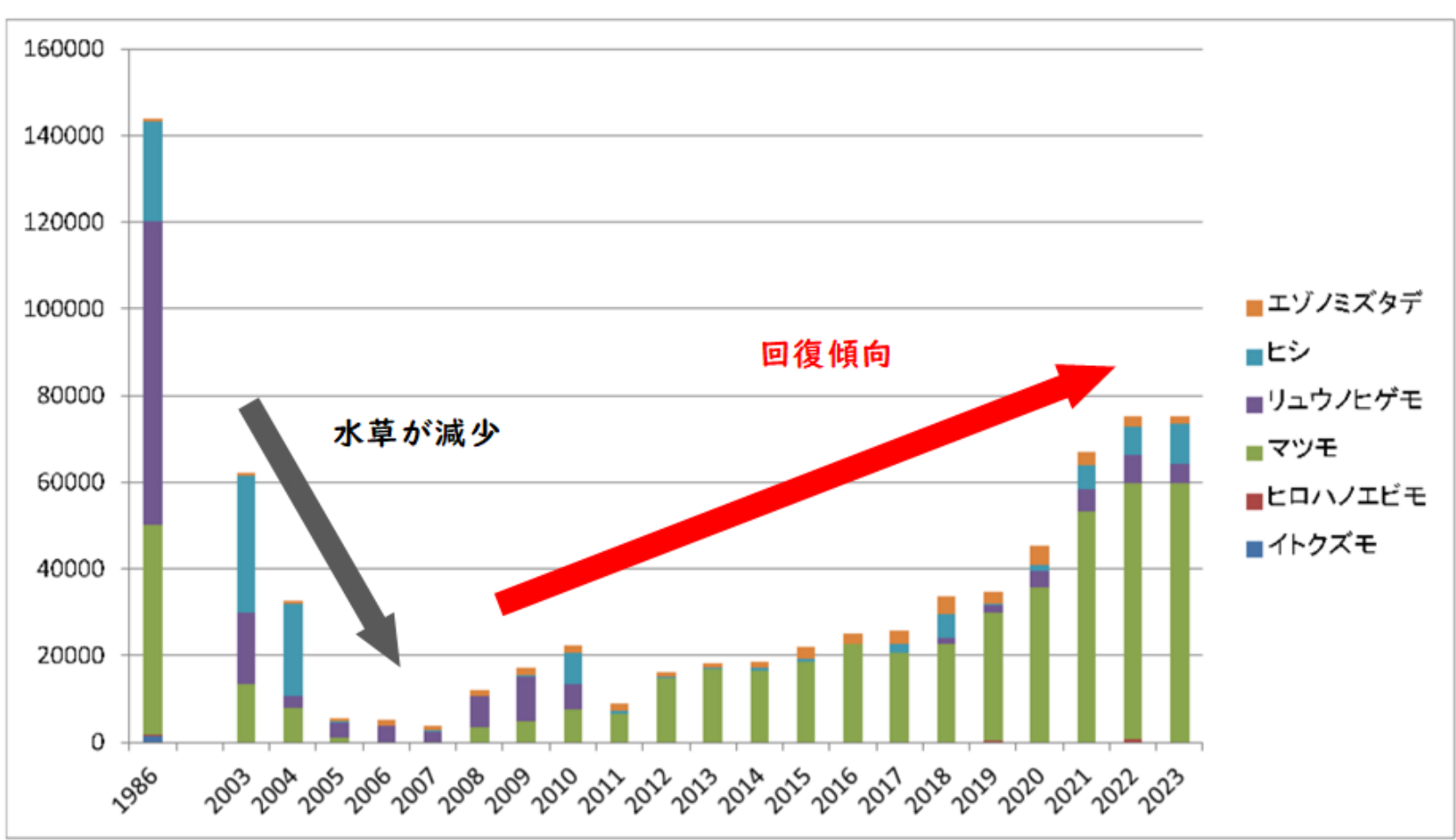
水草の分布面積の推移

2023年水草調査について

調査日：2023年7月24日

確認した水草：4種

- マツモ
- リュウノヒゲモ
- エゾノミズタデ
- ヒシ



2023年水草の分布図

チャランケチャシ



マツモ

- 南西部を中心に大きな群落を形成
- 湖北部での生育確認される等、年々面積が増加

リュウノヒゲモ

- 2011～2017年には確認されなかったが、2018年以降継続的に確認されている。2023年は昨年より減少



エゾノミズタデ

- 1986年と同じ場所に常に生育しつつ、2011年以降は面積が増加傾向だったが、近年は減少傾向



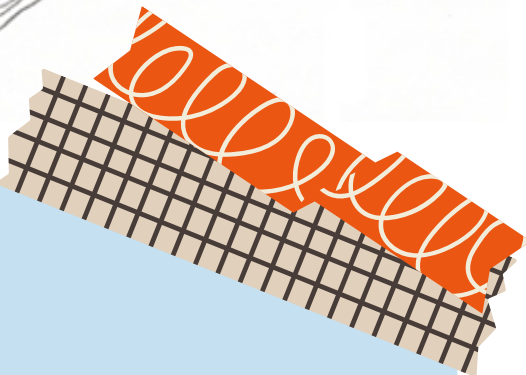
ヒシ

- 2020年以降は面積が増加傾向
- 分布面積の年次変動が激しい



水草の傾向

- 一時期水草の面積が激減していたが、2011年以降水草全体の面積は増加
- 2021～2023年度の分布面積は、再調査を開始した2003年度の分布面積を超えた
- マツモの面積増加が大きく、ヒブナの産卵や水鳥などのえさ場にとっては良い傾向



春 採 湖 ダイジェスト

春採湖に関する事で、情報が
ありましたら、下記のお問い
合わせ先までご連絡ください。

◆令和5年度に行われた春採湖に関するイベント等を紹介します◆

月	主 な 行 事 [] 内は実施主体等	特記事項
4月	15日:春採湖ネイチャーセンター開館 16日:春採湖畔探鳥会 [市立博物館] (11月まで毎月1回開催。4、8月は雨天中止。)	3月26日: 春採湖全面解氷
5月	20日:春採湖畔草花ウォッチング [市立博物館](9月まで毎月1回開催)	1日:サクラ開花※
6月	1日:イオン釧路昭和店2回楽器屋前 「春採湖なんでもパネル展」[市環境保全課](13日まで実施) 10日:しらべてみよう春採湖の昆虫 [市立博物館](9月まで開催) 14日:塩分躍層調査 [市環境保全課](3月まで毎月1回調査) 15日:ヒブナ生息実態調査[市立博物館] 26日:春採湖ウチダザリガニ捕獲事業 [市環境保全課](30日まで実施)	
7月	9日:春採湖汽水のいきもの観察会[市立博物館]	
8月	19日:『春採湖ウチダザリガニ捕獲体験教室』[市環境保全課]	
9月	25日:春採湖ウチダザリガニ捕獲事業 [市環境保全課](29日まで実施)	
10月	31日:春採湖ネイチャーセンター閉館	23日:カエデ紅葉※
11月		
12月	11日:釧路市役所1階 「春採湖なんでもパネル展」[市環境保全課](19日まで実施) 22日:釧路市中央図書館7階 「春採湖なんでもパネル展」[市環境保全課](28日まで実施)	14日:春採湖全面結氷
1月		
2月		
3月		

※ 札幌管区気象台ホームページより



春採湖ウチダザリガニ捕獲体験教室

発行／春採湖調査会

<お問い合わせ先>

春採湖調査会(庶務)

釧路市市民環境部

環境保全課自然保護係

TEL:0154-31-4594

FAX:0154-23-4651

E-mail: ka-shizenhogo@city.kushiro.lg.jp